

書面協議による審議会の開催結果

1. 審議会名

令和3年度第1回石狩市子ども・子育て会議

2. 書面開催とする理由

新型コロナウイルス感染症対策のため

3. 協議期間

令和4年3月7日から令和4年3月18日まで

4. 会議参加者

吾田会長、坪田副会長、河岸委員、近藤委員、星野委員、伊藤委員、新田委員、金子委員、穴田委員、山中委員

5. 議事項目

(1) 特定教育・保育施設の利用定員の変更について(資料)

6. 審議会委員からの意見・質問及び回答

別紙のとおり

令和4年3月25日 開催結果確定

石狩市子ども・子育て会議

副会長 坪田清美

(1) 特定教育・保育施設の利用定員の変更について

NO.	委員名	委員からの意見・質問	事務局の考え・報告
1	金子	<p>この度の「教育・保育施設の利用定員の変更について」に関する質問ですが、令和2年度第2回石狩市子ども・子育て会議の議案の中で、石狩たんぼ認定こども園で利用定員108名から115名の変更があげられていました。</p> <p>今回の議案では、石狩たんぼ認定こども園で利用定員108名から125名となっており、令和3年度4月から115名への定員変更が実施されておらず、今回あらためて令和4年度4月から125名への定員変更を実施するとの提案ですが、定員115名で不足する利用ニーズの実態があるという理由として解釈してよろしいでしょうか。</p>	<p>石狩たんぼ認定こども園の定員変更については、前回、北海道との認可定員の定員手続きが完了しなかったため、令和3年4月の変更は見送り、今回あらためて申請があったものです。</p> <p>また、この度の3施設の定員見直しは、恒常的に定員を超過していることなどの利用状況を踏まえ、各施設の意向を十分に考慮しつつ、変更することにしたものです。</p>
2	金子	<p>花川マリア認定こども園、緑苑台認定こども園も各5名増となっています。利用需要が増えてきているとの理解で宜しいでしょうか。</p> <p>以前に今後の見直しについて質問させていただきましたが、事務局からは「石狩市子どもビジョン（令和2年度～6年度）におきまして、児童人口の減少に伴い、教育や保育の需要も減少していくと予測しており、利用定員枠は令和3年度の利用定員で計画終期まで確保できる見込みとなっています。」との回答でした。その後、需要状況の変化があったのか、教えて下さい。</p>	<p>平成31年から令和3年の就学前児童人口は、横ばいの状況で推移しておりますことから、減少に伴う影響はありません。保育ニーズ全体では、幼児教育・保育の無償化以降、増加傾向にあり、その傾向は本年度も続いております。</p> <p>(石狩市子どもビジョンにおける児童人口推計、教育・保育の需給状況や確保方策は、中間年の見直しの中で整理することになります。)</p>
3	金子	<p>市外（特に札幌市から）石狩市に通勤されている方々の保育需要はあるのか、そのあたりの実情がもしわかれば、教えて下さい。</p>	<p>市外からの利用状況については、本市に通勤されている方に限ったデータはありませんが、本年度市内保育施設では、市民以外の利用は45人程度となっています。</p>
4	星野	<p>令和5年度からのいしかりファミリー・サポート・センター料金改正について検討をお願いします。</p> <p>産前産後の無料券8時間から40時間へ拡大し、利用件数が10倍となり、支援総時間が1.8倍に増加しました。さらに、早朝、夜の支援も増加しサポート会員さんの負担が多くなっている現状です。基本時間区分の変更を提案します。</p> <p>また、依頼宅での支援の場合も地域別に手配することが困難になり、遠方へ出向いてもらうことも増えています。交通費の検討もお願いします。</p>	<p>いしかりファミリー・サポート・センターの利用件数の増加に伴う、サポート会員の負担を考慮し、令和4年度の石狩市子ども・子育て会議において、検討することといたします。</p>

5	穴田	<p>利用定員の増加により、子どもたちの生活や職員の勤務状態に無理がないかなどの親が感じる不安にも、しっかりと対応ができるようにしてほしいと思います。</p>	<p>保護者の方はもちろん、園で生活する子どもたちや職員が安心して過ごすことができるように、利用者の声にしっかりと対応するとともに、引き続き園との連携を図り、困った時に相談しやすい関係づくりを行います。</p>
6	山中	<p>石狩市の待機児童の状況はわかりませんが、必要とする保護者が安心して預けることができるようになってほしいです。</p>	<p>本市では、平成22年度より保育施設の計画的な施設整備を行い保育定員の拡大を図っているほか、令和2年度からは保育士等の人材確保及び就労継続を支援する事業を行っております。</p> <p>また、令和元年10月に幼児教育・保育の無償化がスタートしたことにより、保育需要が高まっており、引き続き既存の施設の有効活用を基本としつつ、利用定員の変更等により対応して参ります。</p>
7	山中	<p>コロナ禍で書面開催となるのは仕方ないが、資料が1枚のみで意見をと言われても、とても悩みました。</p> <p>いろいろな人の話を聞き、意見交換をする場があることのすごさを改めて感じています。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、書面開催となりましたが、事務局としても意見交換をする場があることの重要性を感じております。次年度は、オンラインも含め、できるだけ顔が見える形での開催を検討したいと考えております。</p>